

剖出の手引き 第2版

筑波大学 医学群 医学類

本冊子を使うにあたっての諸注意

1. 本冊子は剖出過程を明確に列挙する目的で作成されました。「解剖実習の手引き（改訂11版）」（寺田・藤田、南山堂、2004年）を読み込む努力を惜しまないでください。きっと力になります。
2. 解剖実習を許された学習者は極めて恵まれています。実習の目的（の一部）はヒトの生活を解剖学的に説明できるようになることであり、名称を覚えることはその序章にすぎません。名称や破格の先には、機能・構造のルール、ひいては病理という、広大で深遠な世界があります。
3. 解剖学は構造（かたち、大きさ、位置）を読む学問です。解釈は知識依存的であり、**初学者が一見のみで学修することはあり得ません**。これまで学んできたことの意味を問い直し、**班員や教員と議論してください**。「見れども（look）見えず（see）」を脱する体験（アハ体験）を積みましよう。
4. 見える構造のみ記載されています。しかし、大事なもの（たとえば構造の形成過程や互いの連関）はときに見えません。**見えないものにも思いはせてください**。
5. **テーマをもって各回の実習に臨んでください**。俯瞰的な視野を持ち、各剖出過程の目的（と剖出が難しかったり失敗してしまったりした場合の次善の策）を考えましょう。
6. 解剖実習は標本作製ではありません。**自ら剖出する過程やそのなかでの観察・議論にこそ実習させていただく意義があります**。未踏の地に踏み込む勇気を持って、挑戦してください。
7. 心の中に自分なりの人体地図を描いてください。そのためには、未来を想い、また、過去を顧みて、手を動かすことが重要です。既製品の地図を渡すことは敢えてしません。

目次

- #1 頸部・胸部・腹部・大腿前面
- #2 頸部・胸部・腹部・大腿前面・峯径部
- #3 背部・上腕上部・後頭部・腰部・殿部・大腿後面
- #4 背部・上腕・腋窩・殿部・大腿後面
- #5 胸部・腋窩・鎖骨下動静脈・大腿前面・膝の関節
- #6 上肢・腕神経叢・肩甲骨前面・肩関節・膝窩・下腿前面・足背・足底・下腿
- #7 前腕伸側・手背・固有背筋・項部
- #8 前腕屈側・手掌・脊髓・胸壁
- #9 顔面・頸部深層・峯径部・胸壁・腹壁・開胸・胸腔
- #10 胸腔・縦隔・肺・心臓・胸大動脈
- #11 頭部離断・咽頭・喉頭・腹膜・腹膜腔・腹部内臓
- #12 咽頭・喉頭・内頭蓋底・腹部内臓の血管・腸管の切り出し
- #13 口腔・鼻腔・咽頭鼻部・腸管の内景・血管系
- #14 咀嚼筋・下顎管・胃・肝臓・十二指腸・膵臓・脾臓・腎臓・副腎・血管系
- #15 顎関節・側頭下窩・後胸腹壁・横隔膜
- #16 舌・口蓋・副鼻腔・翼口蓋神経節・腰神経叢・下半身離断
- #17 副眼器・眼窩・眼球・外陰部・会陰
- #18 舌下神経管・頸静脈孔・外耳・中耳・会陰・骨盤壁
- #19 内耳・翼突管・骨盤壁・骨盤の切半
- #20 翼突管・頸動脈管・耳神経節・骨盤壁・骨盤壁

剖出の手引き第2版 対照表

実習回	教科書セクション (§)	副読本セクション (#)
第1回実習	1, 2, 3, 53	1
第2回実習	1, 2, 3, 53	1
第3回実習	4, 5, 8, 9, 30, 54, 55	2
第4回実習	6, 53, 54	3
第5回実習	7, 14, 15, 26, 56, 57	4
第6回実習	進度調整日	進度調整日
第7回実習	9, 10, 55, 62	5
第8回実習	11, 58	6
第9回実習	11, 12, 13, 14, 22, 53, 59, 60, 61, 63	6
第10回実習	17, 23, 26, 27	7
第11回実習	16, 18, 19, 20, 21, 24, 28, 29	8
第12回実習	中間試問	中間試問
第13回実習	中間試問	中間試問
第14回実習	73, 38, 30, 31, 35, 36	9
第15回実習	36, 37, 38, 39, 40, 41, 42	10
第16回実習	36, 37, 38, 39, 40, 41, 42	10
第17回実習	72, 74, 38, 75, 76, 32, 33, 34, 43, 44	11
第18回実習	74, 76, 78, 45, 46	12
第19回実習	79, 80, 45, 46	13
第20回実習	81, 45, 47, 48, 49, 50	14
第21回実習	進度調整日	進度調整日
第22回実習	82, 51, 52	15
第23回実習	83, 84, 52	16
第24回実習	85, 86, 87, 65m, 66m, 65f, 66f	17
第25回実習	88, 89, 64, 66m, 66f	18
第26回実習	90, 67, 68m, 68f, 69	19
第27回実習	91, 70m, 70f, 71	20
第28回実習	最終試問	最終試問
第29回実習	最終試問	最終試問
第30回実習	予備日 (試問再試)	予備日 (試問再試)

- 1 #1 頸部・胸部・腹部・大腿前面
- 2 (上半身グループ)
- 3 両側の肩峰 *acromion* の間に、胸骨角を通るような皮膚切開を加える。
- 4 臍 *umbilicus* を傷つけないよう、臍周囲に円を描くように皮膚切開を加える。
- 5 胸骨角から臍の上縁まで皮膚切開を加える。
- 6 両側の上前腸骨棘 *spina iliaca anterior superior* の間に皮膚切開を加える。
- 7 臍の下縁から上前腸骨棘間の皮膚切開に向けて、正中で皮膚切開を加える。
- 8 剣状突起 *processus xiphoideus* を通るように、正中の皮膚切開に直交する皮膚切開を加える。
- 9 乳輪を傷つけないよう、乳輪周囲に皮膚切開を加える。
- 10 正中から観音開きするように、真皮と皮下脂肪の間で皮剥ぎを行う。
- 11 下顎にそって皮膚切開を加え、胸骨角から下顎に向けて正中で皮膚切開を加える。
- 12 皮剥ぎした頸部で筋膜 *fascia* を被った広頸筋 *platysma* を同定する。
- 13 この筋膜を剥ぎ取ることで、広頸筋を剖出する。
- 14 広頸筋を貫いて皮下に現れる鎖骨上神経 *nervi supraclaviculares* を剖出する。
- 15 乳腺周囲の脂肪組織を分け入り、胸筋筋膜 *fascia pectoralis* に達する。
- 16 乳腺組織を脂肪ごと胸筋筋膜からはがし取り、乳頭を含めて複数の断面を作成して観察する。
- 17 胸部で肋間神経 *nervi intercostales* の皮枝を一本剖出する。
- 18 (下半身グループ)
- 19 恥丘までの腹部で脂肪組織を取り除き、浅腹筋膜 *fascia abdominalis superficialis* に達する。
- 20 外陰部を除く下腹部前面も皮剥ぎするが、兎径靭帯 *ligamentum inguinale* 周囲は慎重に行う。
- 21 足首まで下肢の前面中央に皮膚切開を加え、観音開きするように皮剥ぎする。
- 22 皮神経やリンパ節を観察したら取り去り、大腿筋膜 *fascia lata* の層まで脂肪組織を取り除く。
- 23 大伏在静脈 *vena saphena magna* や伏在裂孔 *hiatus saphenus* を同定する。
- 24 伏在裂孔の近傍で浅腹壁動静脈 *arteria et vena epigastrica superficialis* を同定する。

- 25 #2 頸部・胸部・腹部・大腿前面・鼠径部
- 26 (上半身グループ)
- 27 広頸筋を正中および尾側から観音開きにしていき、鎖骨 *clavicula* までめくり返す。
- 28 胸筋筋膜を剥ぎ取り、大胸筋 *musculus pectoralis major* の前面を露出させる。
- 29 大胸筋の停止を十分に観察できるよう、適当に上腕の皮剥ぎを行う。
- 30 三角筋 *musculus deltoideus* と橈側皮静脈 *vena cephalica* を見つける。
- 31 浅腹筋膜を剥ぎ取り、外腹斜筋 *musculus obliquus externus abdominis* と腹直筋鞘を見る。
- 32 広頸筋のめくり返しを下顎まで延長する。
- 33 鎖骨上神経や頸横神経 *nervus transversus colli* を見つける。
- 34 これらを胸鎖乳突筋 *musculus sternocleidomastoideus* の後面(神経点)まで追っていく。
- 35 神経点から頭側にのびる大耳介神経 *nervus auricularis magnus* を剖出する。
- 36 胸鎖乳突筋の後縁に小後頭神経 *nervus occipitalis minor* を求める。
- 37 小後頭神経に注意しつつ、胸鎖乳突筋の停止までしっかりと皮切りを行う。
- 38 これらの神経を傷つけないよう、筋膜下に分けいって胸鎖乳突筋を剖出する。
- 39 胸鎖乳突筋の剖出後、筋膜と脂肪組織を取り除いて頸神経叢 *plexus cervicalis* を剖出する。
- 40 胸鎖乳突筋に背面から入る副神経 *nervus accessorius* (の外枝)を観察する。
- 41 胸鎖乳突筋を筋腹中央やや胸骨・鎖骨寄りそれぞれ切断し、めくり返せるようにする。
- 42 舌骨 *os hyoideum* と肩甲舌骨筋 *musculus omohyoideus* を同定する。
- 43 肩甲舌骨筋に入る神経をたどり、頸神経ワナ *ansa cervicalis* を同定する。
- 44 頸神経ワナからのびる神経を切らないように、中頸筋膜を取り除く。
- 45 正中に接して、頸神経ワナをたどって胸骨舌骨筋 *musculus sternohyoideus* を剖出する。
- 46 同様にたどり、その外側下方で胸骨甲状筋 *musculus sternothyreoideus* も剖出する。
- 47 胸骨甲状筋の上方で甲状舌骨筋 *musculus thyreohyoideus* も見る。
- 48 上甲状腺動脈 *arteria thyreoidea superior* を同定する。
- 49 頸動脈鞘内に総頸動脈 *arteria carotis communis* と内頸静脈 *vena jugularis interna* を露出する。
- 50 さらに総頸動脈を包む鞘の中に迷走神経 *nervus vagus* を見つけ、印をつけておく。
- 51 上甲状腺動脈を中枢にたどり、外頸動脈 *arteria carotis externa* を同定する。
- 52 内頸静脈を手前に引き上げ、前斜角筋 *musculus scalenus anterior* を見る。
- 53 胸腔の解剖に備えて、前斜角筋の前面を下行する横隔神経 *nervus phrenicus* に印をつける。
- 54 ご遺体の上肢をできる限り内転および内旋させ、大胸筋の緊張を緩める。
- 55 大胸筋の下縁の疎な結合組織を手で分け入り、神経血管を除く大胸筋のみを浮き上がらせる。
- 56 浮き上がった部分を鎖骨方向に向けて、なるべく起始の近くで順次切断していく。
- 57 大胸筋に入る神経(内側・外側胸筋神経 *nervus pectoralis medialis et lateralis*)を温存する。

- 58 胸肩峰動静脈 (*arteria et vena thoracoacromialis*) の枝が大胸筋に出入りする様子を観察する。
- 59 (下半身グループ)
- 60 外腹斜筋が下位肋骨から起こる様子を観察する。
- 61 外腹斜筋のうち頭側の線維束 (下縁: 内側脚) が腹直筋鞘に連続する様子を観察する。
- 62 外腹斜筋のうち尾側の線維束 (上縁: 外側脚) が崙径靭帯に連続する様子を観察する。
- 63 内側脚と外側脚の間を連絡する脚間線維を同定する (ピンセットでこすると抵抗を生じる)。
- 64 浅崙径輪 (内側脚・脚間線維・外側脚・崙径靭帯などで構成される腔所) を観察する。
- 65 男性では精索 *funiculus spermaticus* を、女性では子宮円索 *ligamentum teres uteri* を見る。
- 66 大腿筋膜を開いて、縫工筋 *musculus sartorius* を剖出する。
- 67 大腿鞘を切り開いて、大腿動静脈 *arteria et vena femoralis* を剖出する。
- 68 大腿動静脈の内側に疎な結合組織やリンパ管を求め、大腿輪と大腿管の概念を理解する。
- 69 大腿前面上半の内側寄り的大腿筋膜を剥ぎ取り、長内転筋 *musculus adductor longus* をみる。
- 70 スカルパ三角 *Scarpa triangle* で大腿動静脈 (と大腿骨骨頭・頸部の位置関係) を確認する。
- 71 長内転筋のより内側の大腿筋膜を剥ぎ取り、薄筋 *musculus gracilis* を剖出する。
- 72 長内転筋をよけて、短内転筋 *musculus adductor brevis* をみる。
- 73 短内転筋の下にある大内転筋 *musculus adductor magnus* をみる。
- 74 内転筋群を支配する閉鎖神経 *nervus obturatorius* を同定し、しるしをつける。
- 75 大腿動脈の後外側に腸腰筋 *musculus iliopsoas* を見つける。
- 76 腸腰筋を覆う筋膜をはいで、大腿神経 *nervus femoralis* を求める。
- 77 縫工筋を筋腹で切断し、下層に大腿四頭筋 *musculus quadriceps femoris* をみる。
- 78 下前腸骨棘から膝蓋骨に向かう大腿直筋 *musculus rectus femoris* をみて筋腹で切断する。
- 79 内側・中間・外側広筋 *musculus vastus medialis, intermedius et lateralis* をみる。
- 80 大腿深動脈 *arteria profunda femoris* とその枝を剖出していく。
- 81 内側・外側大腿回旋動脈 *arteria circumflexa femoris medialis et lateralis* を追求する。
- 82 長内転筋を筋腹で切断し、貫通動脈 *arteriae perforantes* を剖出する。
- 83 大内転筋の停止部で、ハンター管 *Hunter canal* を通る構造を理解する。
- 84 ハンター管付近で伏在神経 *nervus saphenus* をみつけ、大腿神経まで追求する。

- 85 #3 背部・上腕上部・後頭部・腰部・殿部・大腿後面
- 86 ご遺体を腹臥位にする。
- 87 頭頸部・体幹部・下肢（足関節まで）の背面を皮切りする。
- 88 （上半身グループ）
- 89 胸部の任意の一箇所です髄神経後枝を剖出する。
- 90 外後頭隆起から頭頂部に向かって走行する大後頭神経 *nervus occipitalis major* を剖出する。
- 91 皮神経を温存しながら、大殿筋 *musculus gluteus maximus* の表面の筋膜を取り除く。
- 92 腸骨稜 *crista iliaca* から殿部に向かう上殿皮神経 *nervi clunium superiores* を剖出する。
- 93 （下半身グループ）
- 94 大腿後面の中央で後大腿皮神経 *nervus cutaneus femoris posterior* の枝を見つける。
- 95 枝を温存しながら大腿筋膜を切り開いて、後大腿皮神経の本幹を剖出する。
- 96 後大腿皮神経とわかれて、殿溝をこえて上行する下殿皮神経 *nervi clunium inferiores* を剖出。
- 97 仙骨部から出てくる中殿皮神経 *nervi clunium medii* を剖出する。
- 98 大腿の外側部で大腿筋膜の肥厚部（腸脛靭帯 *tractus iliotibialis*）を同定する。
- 99 腸脛靭帯の表層を剥ぎ取り、大腿筋膜張筋 *musculus tensor fasciae latae* を見つける。
- 100 下腿では腓腹神経 *nervus suralis* を剖出する。

- 101 #4 背部・上腕・腋窩・殿部・大腿後面
102 (上半身グループ)
103 僧帽筋 *musculus trapezius* を剖出する。
104 僧帽筋と胸鎖乳突筋の間で副神経と頸横動脈 *arteria transversa colli* を見つける。
105 適当に上肢の皮剥ぎを追加して、広背筋 *musculus latissimus dorsi* を同定する。
106 僧帽筋を正中から2横指のところで、下縁から順次切断し菱形筋 *musculi rhomboidei* を剖出。
107 切断をさらに頭側に延長して肩甲挙筋 *musculus levator scapulae* を剖出する。
108 菱形筋と肩甲挙筋を筋腹中央で順次切断し、肩甲背神経 *nervus dorsalis scapulae* を同定。
109 棘突起から出て肋骨に終わる上後鋸筋 *musculus serratus posterior superior* を剖出する。
110 広背筋を筋腹中央で下縁から順次切断し、胸腰筋膜 *fascia thoracolumbalis* までめぐり返す。
111 広背筋上縁で、これを支配する胸背動脈・神経 *arteria et nervus thoracodorsalis* を同定する。
112 広背筋の下層で胸腰筋膜との間に下後鋸筋 *musculus serratus posterior inferior* を剖出する。
113 (下半身グループ)
114 大殿筋を、筋腹中央から外側に2横指のところで切断してめぐり返す。
115 下殿神経 *nervus gluteus inferior* と下殿動静脈 *arteria et vena glutea inferior* を剖出する。
116 続いて、中殿筋 *musculus gluteus medius* と梨状筋 *musculus piriformis* を剖出する。
117 上殿神経 *nervus gluteus superior* と上殿動静脈 *arteria et vena glutea superior* を剖出する。
118 梨状筋下縁から尾側に伸びる坐骨神経 *nervus ischiadicus* を剖出する。
119 上・下双子筋 *musculus gemellus superior et inferior* を剖出する。
120 内閉鎖筋 *musculus obturatorius internus* の腱を同定する。
121 大腿方形筋 *musculus quadratus femoris* を剖出する。
122 中殿筋を筋腹で切断し、小殿筋 *musculus gluteus minimus* を剖出する。
123 坐骨結節から起こる大腿二頭筋 *musculus biceps femoris* の長頭 *caput longum* を剖出する。
124 大腿骨粗線から起こる大腿二頭筋 *musculus biceps femoris* の短頭 *caput breve* を剖出する。
125 半腱様筋 *musculus semitendinosus* を剖出する。
126 半膜様筋 *musculus semimembranosus* を剖出する。

- 127 #5 胸部・腋窩・鎖骨下動静脈・大腿前面・膝の関節
- 128 ご遺体を背臥位にする。
- 129 (上半身グループ)
- 130 小胸筋 *musculus pectoralis minor* を筋腹で切断し、出入りする神経や血管を剖出する。
- 131 枕を使って、腕をできるだけ内転させ、鎖骨の骨膜 *periostium* を剥ぎ取る。
- 132 上肢を動かして胸鎖関節を同定した後、メスで開放する。
- 133 外側からメスを入れていき、鎖骨下筋 *musculus subclavius* を鎖骨から剥ぎ取る。
- 134 三角筋 *musculus deltoideus* の内側縁で、鎖骨への付着部位と胸郭の間に布を通す。
- 135 布で覆った下層の軟部組織を傷つけないように、鎖骨を鋸で切断し、取り外す。
- 136 鎖骨下動静脈 *arteria et vena subclavia* を剖出する。
- 137 甲状頸動脈 *truncus thyrocervicalis* を剖出する。
- 138 肩甲上動脈 *arteria suprascapularis* と下甲状腺動脈 *arteria thyroidea inferior* を剖出する。
- 139 内胸動脈 *arteria thoracica interna* の基部を剖出する。
- 140 横隔神経や胸管 *ductus thoracicus* を温存しつつ、前斜角筋や残るリンパ組織を取り除く。
- 141 椎骨動脈 *arteria vertebralis* の基部を剖出する。
- 142 (下半身グループ)
- 143 大腿の遠位 3 分の 1 付近で、大腿四頭筋を適宜取り除き、大腿骨 *femur* を露出させる。
- 144 大腿骨の骨膜を全周性に剥ぎ取り、大腿骨の背面に布を挿入する。
- 145 軟部組織を傷つけないように注意しつつ、大腿骨を鋸で切断する。
- 146 大腿骨外側上顆と腓骨頭をむすぶ、外側側副靭帯 *ligamentum collaterale fibulare* を剖出。
- 147 膝関節包内側部の肥厚部に内側側副靭帯 *ligamentum collaterale tibiale* を見つける。
- 148 膝蓋靭帯 *ligamentum patella* を膝蓋骨 *patella* の尾側でひろく横に切断する。
- 149 膝関節を屈曲させて前・後十字靭帯 *ligamentum cruciatum anterius et posterius* を見る。
- 150 内側・外側半月 *meniscus medialis et lateralis* が主に軟骨であることを観察する。
- 151 下腿筋膜を剥ぎ取り、腓腹筋 *musculus gastrocnemius* を剖出する。
- 152 膝窩で脛骨神経 *nervus tibialis* と総腓骨神経 *nervus peroneus communis* を剖出する。
- 153 膝窩動静脈 *arteria et vena poplitea* を剖出する。
- 154 腓腹筋を起始近くで切断してめくり返し、足底筋 *musculus plantaris* を剖出する。
- 155 さらに腓腹筋をめくり返して、ヒラメ筋 *musculus soleus* を露出させる。
- 156 アキレス腱、続いてヒラメ筋の腓骨から起こる部分を切断する。
- 157 ヒラメ筋の脛骨から起こる部分も一部切断し、ヒラメ筋を腓腹筋ごと外側上方に裏返す。
- 158 膝窩動脈からの前脛骨動脈 *arteria tibialis anterior* の枝分かれを剖出する。
- 159 後脛骨動脈 *arteria tibialis posterior* と腓骨動脈 *arteria peronea* の枝分かれを剖出する。

- 160 #6 上肢・腕神経叢・肩甲骨前面・肩関節・膝窩・下腿前面・足背・足底・下腿
161 (上半身グループ)
- 162 手関節まで全周性に皮剥ぎ行い、上腕筋膜 fascia brachii も剥ぎ取る。
- 163 上腕二頭筋 musculus biceps brachii と筋皮神経 nervus musculocutaneus を確認する。
- 164 烏口腕筋 musculus coracobrachialis を剖出して、腕神経叢 plexus brachialis の剖出に入る。
- 165 腋窩動脈 arteria axillaris を挟み込んだ先に走る正中神経 nervus medianus を同定する。
- 166 烏口腕筋に向かう筋皮神経を剖出する。
- 167 正中神経と筋皮神経に枝を送る外側神経束 fasciculus lateralis を同定する。
- 168 正中神経にもうひとつの枝を送っている内側神経束 fasciculus medialis を同定する。
- 169 内側・外側神経束の面よりも背面を走る後神経束 fasciculus posterior を見つける。
- 170 三つの神経束を中枢にたどり、上・中・下神経幹 truncus superior, medius et inferior を見る。
- 171 神経幹をさらに中枢にたどり、C5 (C4) ~Th1 (Th2) の神経根を剖出する。
- 172 三角筋の筋腹中央を、筋束と垂直に、腹側縁から少しずつ切断し、観音開きにしていく。
- 173 背側から三角筋に入る腋窩神経 nervus axillaris を温存しつつ、三角筋の切断を完了する。
- 174 上肢を外転させ、第二(三)肋間で肋間上腕神経 nervus intercostobrachialis を剖出する。
- 175 肩甲回旋動脈 arteria circumflexa scapulae と外側胸動脈 arteria thoracica lateralis を剖出。
- 176 長胸神経 nervus thoracicus longus や胸背神経を探す。
- 177 外側腋窩隙に後上腕回旋動脈 arteria circumflexa humeri posterior と腋窩神経を剖出する。
- 178 上腕・前腕の皮神経から、内側上腕皮神経と内側前腕皮神経や外側前腕皮神経を同定する。
- 179 尺骨神経 nervus ulnaris をできるかぎり末梢まで剖出する。
- 180 内側・外側神経束から出る内側・外側胸筋神経をそれぞれ同定し、大胸筋まで追う。
- 181 肩甲背神経の根部をみる(のちに腹臥位で肩甲挙筋と菱形筋まで追う)。
- 182 上腕二頭筋の深層で上腕筋 musculus brachialis を剖出する。
- 183 上腕動脈 arteria brachialis を剖出する。
- 184 前鋸筋 musculus serratus anterior を剖出し、筋腹で切断する。
- 185 肩甲下筋 musculus subscapularis を剖出する。
- 186 腋窩神経を後神経束がわにたどり、続いて橈骨神経 nervus radialis を同定する。
- 187 ご遺体を腹臥位にし、上腕三頭筋 musculus triceps brachii を剖出する。
- 188 上腕三頭筋を上腕骨付近まで分け入り、橈骨神経を剖出する。
- 189 上腕骨外側上顆から起こる肘筋 musculus anconeus を剖出する。
- 190 棘上筋 musculus supraspinatus と棘下筋 musculus infraspinatus を剖出する。
- 191 大円筋 musculus teres major と小円筋 musculus teres minor を剖出する。
- 192 肩甲上神経・動脈 nervus et arteria suprascapularis を剖出する。

- 193 (下半身グループ)
- 194 足関節で上・下伸筋支帯 *retinaculum musculorum extensorum superior et inferior* を同定する。
- 195 浅腓骨神経 *nervus peroneus superficialis* を剖出する。
- 196 足趾まで皮剥ぎを行う。
- 197 深腓骨神経 *nervus peroneus profundus* を剖出する。
- 198 足背筋膜を剥ぎ取り、前脛骨筋 *musculus tibialis anterior* を同定する。
- 199 下腿前区画で前脛骨筋の深層外側に長母趾伸筋 *musculus extensor hallucis longus* を見る。
- 200 足関節レベルでさらに外側に、長趾伸筋 *musculus extensor digitorum longus* を求める。
- 201 前区画の高い方(脛骨粗面付近)でも前脛骨動脈を可及的に剖出する。
- 202 足背において長趾伸筋腱下層で短趾伸筋 *musculus extensor digitorum brevis* を剖出する。
- 203 短母趾伸筋 *musculus extensor hallucis brevis* も剖出する。
- 204 足底の皮下脂肪を取り除き、足底腱膜 *aponeurosis plantaris* を露出させる。
- 205 内果の下方で、後脛骨動脈を剖出する。
- 206 足底腱膜を取り除き、短趾屈筋 *musculus flexor digitorum brevis* も筋腹で切断する。
- 207 外側足底動脈・神経 *arteria et nervus plantaris lateralis* を見つけておく。
- 208 内側足底動脈・神経 *arteria et nervus plantaris medialis* も見つけておく。
- 209 小趾外転筋 *musculus abductor digiti minimi* を剖出する。
- 210 母趾外転筋 *musculus abductor hallucis* を剖出してから、起始で切断する。
- 211 短趾屈筋腱の下層で長趾屈筋 *musculus flexor digitorum longus* の腱を剖出する。
- 212 虫様筋 *musculi lumbricales* と足底方形筋 *musculus quadratus plantae* を剖出する。
- 213 長母趾屈筋 *musculus flexor hallucis longus* を腱とともに剖出する。
- 214 下腿外側区画からくる長・短腓骨筋 *musculus peroneus longus et brevis* も剖出する。
- 215 小趾外転筋を筋腹で切断し、短小趾屈筋 *musculus flexor digiti minimi brevis* を剖出する。
- 216 長趾屈筋と長母趾屈筋の腱を足底中央で切断してめくり返す。
- 217 母趾内転筋 *musculus adductor hallucis* の横頭と斜頭を剖出する。
- 218 底側骨間筋 *musculi interossei plantares* を除去しつつ、足底動脈弓 *arcus plantaris* を剖出する。
- 219 足関節周辺が内側と外側で複数の強靭な靭帯で支えられている様子を観察する。
- 220 背側骨間筋 *musculi interossei dorsales* を一箇所を剖出する。
- 221 リスフラン(Lisfranc)関節など、骨の連結は交連標本を参考にする。

222 #7 前腕伸側・手背・固有背筋・項部

223 ご遺体を腹臥位にする。

224 (上半身グループ)

225 皮神経を温存しつつ、爪を除く上肢の皮切りを完了し、手関節近位まで前腕筋膜も取り去る。

226 第5中手骨底内側面に付着する尺側手根伸筋 *musculus extensor carpi ulnaris* を剖出する。

227 尺側手根伸筋の橈側で総指伸筋 *musculus extensor digitorum* を剖出する。

228 総指伸筋からやや独立して小指に向かう小指伸筋 *musculus extensor digiti minimi* を剖出する。

229 総指伸筋と小指伸筋の腱を切断し、めくり返せるようにする。

230 総指伸筋の下層で遠位に示指伸筋 *musculus extensor indicis* を剖出する。

231 さらに外側にめくり返していき、長母指伸筋 *musculus extensor pollicis longus* を剖出する。

232 母指基節骨近位部に停止する短母指伸筋 *musculus extensor pollicis brevis* を剖出する。

233 短母指伸筋と共通の滑液鞘に入る長母指外転筋 *musculus abductor pollicis longus* を剖出する。

234 長・短橈側手根伸筋 *musculus extensor carpi radialis longus et brevis* を剖出する。

235 解剖学的嗅ぎタバコ入れに遠位橈骨動脈と舟状骨を同定する。

236 回外筋を貫く橈骨神経の深枝をたどって後骨間神経 *nervus interosseus posterior* を剖出する。

237 腕橈骨筋 *musculus brachioradialis* と回外筋 *musculus supinator* を剖出する。

238 (下半身グループ)

239 上後鋸筋を筋腹で切断し、頭・頸板状筋 *musculus splenius capitis et cervicis* を剖出する。

240 下後鋸筋を切断し、胸腰筋膜を剥ぎ取って、腸肋筋 *musculus iliocostalis* を剖出する。

241 その内側で最長筋 *musculi longissimus* と棘筋 *musculus spinalis* を剖出する。

242 最長筋を取り除き、横突棘筋 *musculus transversospinalis* を剖出する。

243 頭板状筋を筋腹で切断し、頭半棘筋 *musculus semispinalis capitis* を剖出する。

244 頭半棘筋も切断し、頸半棘筋 *musculus semispinalis cervicis* を剖出する。

245 大後頭直筋 *musculus rectus capitis posterior major* を剖出する。

246 環椎横突起に付く上・下頭斜筋 *musculus obliquus capitis superior et inferior* を剖出する。

247 後頭下神経 *nervus suboccipitalis (C1)* と大後頭神経 *nervus occipitalis major (C2)* を剖出する。

248 後頭下三角の奥で環椎 *atlas* の上縁を横走する椎骨動脈 *arteria vertebralis* を剖出する。

249 大後頭直筋の筋腹を切断し、小後頭直筋 *musculus rectus capitis posterior minor* を剖出する。

- 250 #8 前腕屈側・手掌・脊髄・胸壁
- 251 (上半身グループ)
- 252 屈側で手掌腱膜 *aponeurosis palmaris* に繋がる長掌筋 *musculus palmaris longus* を剖出する。
- 253 手首の付近で、長掌筋の橈側で橈側手根屈筋 *musculus flexor carpi radialis* を剖出する。
- 254 深部を走る円回内筋 *musculus pronator teres* を剖出する。
- 255 上腕骨内側上顆から起こる尺側手根屈筋 *musculus flexor carpi ulnaris* を剖出する。
- 256 長掌筋と橈側手根屈筋の腱を切断して持ち上げられるようにする。
- 257 浅指屈筋 *musculus flexor digitorum superficialis* を剖出する。
- 258 浅指屈筋は筋腹で切断し、深指屈筋 *musculus flexor digitorum profundus* も剖出する。
- 259 深指屈筋の橈側に長母指屈筋 *musculus flexor pollicis longus* を剖出する。
- 260 前腕前面の最深層に方形回内筋 *musculus quadratus pronator* を剖出する。
- 261 上腕動脈から分岐する尺骨動脈 *arteria ulnaris* と橈骨動脈 *arteria radialis* を剖出する。
- 262 腕神経叢由来の神経を前腕屈側でも剖出する。
- 263 手掌腱膜から起こる短掌筋 *musculus palmaris brevis* を剖出する。
- 264 短掌筋をよく観察したのちに剥ぎ取る。
- 265 母指基節骨近位橈側部に停止する短母指外転筋 *musculus abductor pollicis brevis* を剖出する。
- 266 母指基節骨近位中央部に停止する短母指屈筋 *musculus flexor pollicis brevis* を剖出する。
- 267 短母指外転筋を筋腹で切断し、しっかりとめくりあげられるようにする。
- 268 第1中手骨に停止する母指対立筋 *musculus opponens pollicis* を見る。
- 269 小指基節骨近位尺側部に停止する小指外転筋 *musculus abductor digiti minimi* を剖出する。
- 270 小指基節骨近位中央部に停止する短小指屈筋 *musculus flexor digiti minimi brevis* を剖出する。
- 271 小指外転筋と短小指屈筋を筋腹で切断し、しっかりとめくりあげられるようにする。
- 272 第5中手骨に停止する小指対立筋 *musculus opponens digiti minimi* を剖出する。
- 273 手掌腱膜を剥ぎ取り、指の方へめくり返す。
- 274 深指屈筋腱から起こる虫様筋 *musculi lumbricales* を剖出する。
- 275 深指屈筋腱も切断し、母指内転筋 *musculus adductor pollicis* の横頭と斜頭を剖出する。
- 276 掌側・背側骨間筋 *musculi interossei palmares et dorsales* を剖出する。
- 277 浅・深掌動脈弓 *arcus palmaris superficialis et profundus* を剖出する。
- 278 (下半身グループ)
- 279 ご遺体を腹臥位にし、枕を使って胸部の前弯を強くさせる。
- 280 C3~L5 までの固有背筋を完全に取り去る。
- 281 なるべく狭い幅で棘突起につづく椎弓板を双鋸で切断する。
- 282 双鋸で切断できなかった部分をノミで切断する。

- 283 C3 上縁と L5 下縁にメスで割を入れる。
- 284 脊柱管背側部を取り外し、断面で棘上・棘間・黄色靭帯を同定する。
- 285 手を切らないように、骨鉗子で遺体側の断面を整形する。
- 286 骨鉗子を用いて、脊髄神経節 *ganglion spinale* を一箇所剖出する。
- 287 硬膜 *dura mater* を正中で縦切開し、クモ膜 *arachnoidea* を観察する。
- 288 硬膜の背側部を取り外し、頸・腰膨大および馬尾 *cauda equina* を露出させる。
- 289 脊髄神経 *nervi spinales* の前・後根 *radix ventralis et dorsalis* を剖出する。
- 290 歯状靭帯を切断して脊髄を取り外し、その前面に前正中裂 *fissura mediana anterior* を見る。
- 291 脊髄の後面に脊髄後索 *funiculus posterior* を見る。
- 292 頸部と胸部で脊髄の断面を作製し、灰白質と白質、中心管 *canalis centralis* を見る。
- 293 頸髄の断面で前・後角 *cornu anterius et posterius* を同定する。
- 294 前・側・後索 *funiculus anterior, lateralis et posterior* も同定する。
- 295 胸（腰）髄の断面では側角 *cornu laterale* も同定する。

- 296 #9 顔面・頸部深層・兎径部・胸壁・腹壁・開胸・胸腔
297 (上半身グループ)
298 口唇を除いて顔をうすく皮剥ぎする。
299 口輪筋と眼輪筋 *musculus orbicularis oris et oculi* を剖出する。
300 下顎下縁より上行する顔面動脈 *arteria facialis* を剖出する。
301 外耳の前方を上行する浅側頭動脈 *arteria temporalis superficialis* を剖出する。
302 三叉神経の枝である耳介側頭神経 *nervus auriculotemporalis* を剖出する。
303 同じく三叉神経の枝である眼窩上・下神経 *nervus supraorbitalis et infraorbitalis* を剖出する。
304 頬筋 *musculus buccinator* と、頬筋を貫く耳下腺管 *ductus parotideus* を剖出する。
305 耳下腺 *glandula parotis* を剖出する。
306 耳下腺の腺体を取り除きつつ、耳下腺内部で分枝する顔面神経 *nervus facialis* を剖出する。
307 顎下腺 *glandula submandibularis* を露出させる(腺体上面には触れずに温存する)。
308 下顎後静脈 *vena retromandibularis* を剖出する。
309 眼窩上・下神経を参考に、オトガイ神経 *nervus mentalis* を剖出する。
310 顎二腹筋後腹 *ventor posterior musculi digastrici* を剖出する(顔面神経支配)。
311 顎二腹筋前腹 *ventor anterior musculi digastrici* を剖出する(下顎神経支配)。
312 顎二腹筋を中間腱で切断し、めくり返せるようにする。
313 茎突舌骨筋 *musculus stylohyoideus* (顔面神経支配)を剖出する。
314 その下面で舌下神経 *nervus hypoglossus* を剖出する。
315 顎舌骨筋 *musculus stylohyoideus* (下顎神経支配)を剖出し、筋腹で切断してめくり返す。
316 オトガイ舌骨筋 *musculus geniohyoideus* (舌下神経支配)を剖出する。
317 舌骨舌筋 *musculus hyoglossus* (舌下神経支配)の表面の筋線維を露出させる。
318 (下半身グループ)
319 外腹斜筋の内側・外側脚を、脚間線維を切りながら分離していく。
320 外腹斜筋の筋腹を切断し、内腹斜筋 *musculus obliquus internus abdominis* を同定する。
321 内腹斜筋の停止側で兎径鎌 *falx inguinalis* (結合腱 *tendo conjunctivus* の一部)を同定する。
322 内腹斜筋が兎径靭帯の「なかほど」から起こる様子を見る。
323 男性のご遺体では、内腹斜筋からわかる精巣挙筋 *musculus cremaster* を同定する。
324 内腹斜筋の上半で筋束を分け、下層の腹横筋 *musculus transversus abdominis* を同定する。
325 腹横筋から内腹斜筋を浮き上がらせ、内腹斜筋を筋腹で切断してめくり返す。
326 内腹斜筋と腹横筋の間に神経線維を見つける。
327 腹横筋が兎径靭帯のかなり外側(頭側)から起こる様子を見る。
328 外腹斜筋・内腹斜筋・腹横筋の起始のずれ(兎径管)に精索・子宮円索が通ることを見る。

- 329 精索・子宮円索を持ち上げて、反転靱帯 *ligamentum reflexum* を同定する。
- 330 さらに精索・子宮円索を持ち上げて、横筋筋膜の層で *iliopubic tract* を同定する（発展学習）。
- 331 腹部の正中で白線 *linea alba* を同定する。
- 332 腹直筋鞘 *vagina musculi recti abdominis* 前葉の中央を頭尾方向に切り開く（正中ではない）。
- 333 腹直筋 *musculus rectus abdominis* を臍の高さで横に切断し、上下にめくり返す。
- 334 上・下腹壁動脈 *arteria epigastrica superior et inferior* の吻合を見る。
- 335 腹直筋鞘後葉と弓状線 *linea arcuata* を同定する。
- 336 ひとつの肋間で外肋間筋 *musculi intercostales externi* を剖出したのちに取り除く。
- 337 内肋間筋 *musculi intercostales interni* を剖出したのちに取り除く。
- 338 肋間動静脈 *arteriae et venae intercostales* と肋間神経 *nervi intercostales* を剖出する。
- 339 最内肋間筋 *musculi intercostales intimi* を取り除き、胸内筋膜 *fascia endothoracica* も破る。
- 340 第1~10肋間の他の肋間でも適当に肋間筋を取り除き、胸内筋膜も破る。
- 341 胸膜外脂肪層で壁側胸膜 *pleura parietalis* を胸郭から鈍的に剥離し、側方で肋骨を切断する。
- 342 胸骨舌骨筋と胸骨甲状筋を胸骨上端付近で、内胸動脈を適当な位置で切断する。
- 343 前胸壁を頭側から前下方に持ち上げていき、横隔膜 *diaphragma* を切断して取り外す。
- 344 手を切らないように、骨鉗子でご遺体側の胸郭断面を整形する。
- 345 縦隔 *mediastinum* の最前面にひだり腕頭静脈 *vena brachiocephalica sinistra* を同定する。
- 346 水をよくかけて、胸腺静脈 *venae thymicae* をたよりに胸腺 *thymus* を剖出・摘出する。
- 347 みぎ腕頭静脈 *vena brachiocephalica* と上大静脈 *vena cava superior* を同定する。
- 348 上行大動脈 *aorta ascendens* から出る腕頭動脈 *arteria brachiocephalica* を同定する。
- 349 みぎ鎖骨下動脈 *arteria subclavia dextra* とみぎ総頸動脈 *arteria communis dextra* を同定する。
- 350 みぎで肋頸動脈 *truncus costocervicalis* と反回神経 *nervus laryngeus recurrens* を剖出する。
- 351 壁側胸膜 *pleura parietalis* を切り開き、胸膜腔 *cavum pleurae* と肺 *pulmo* を同定する。
- 352 肺の表面を覆う肺胸膜（臓側胸膜） *pleura pulmonaris* を同定する。
- 353 胸膜腔に腕を入れて、肺間膜 *ligamentum pulmonale* を同定する。

- 354 #10 胸腔・縦隔・肺・心臓・胸大動脈
- 355 (上半身グループ・下半身グループ関係なく全員で行う)
- 356 胸膜の癒着に注意しつつ、肺根 *radix pulmonis* をなるべく肺に近いところで切断して肺を取り出す。
- 357 みぎ肺に上・中・下葉 *lobus superior, medius et inferior* を同定する。
- 358 ひだり肺に上・下葉を *lobus superior et inferior* と小舌(舌区) *lingula* を同定する。
- 359 肺門 *hilus pulmonis* で気管支 *brunchus principalis* を同定する。
- 360 肺胸膜を適当に剥ぎ、肺の表面で二次小葉 *secondary pulmonary lobule* (Miller) を同定する。
- 361 大動脈弓 *arcus aortae* と肺動脈幹 *truncus pulmonalis* を同定する。
- 362 ひだりの総頸動脈と鎖骨下動脈を同定する。
- 363 これらの動脈との位置関係をよく観察しながら、動脈管索 *ligamentum* とひだり反回神経を剖出する。
- 364 迷走神経の上・下頸心臓枝 *rami cardiaci cervicales superiores et inferiores* を同定する。
- 365 心臓神経叢に向かう、反回神経の胸心臓枝 *rami cardiaci thoracici* を剖出する。
- 366 胸部及び頸部の両方で、交感神経幹 *truncus sympathicus* を同定する。
- 367 続いて、頸胸神経節 *ganglion cervicothoracicum* (星状神経節 *ganglion stellatum*) を剖出する。
- 368 頸胸神経節から起こる下(頸)心臓神経 *nervus cardiacus cervicalis inferior* を剖出する。
- 369 その頭側から起こる中(頸)心臓神経 *nervus cardiacus cervicalis medius* を剖出する。
- 370 中頸神経節 *ganglion cervicale medium* を剖出する。
- 371 続いて、上頸神経節 *ganglion cervicale superior* も剖出を試みる。
- 372 大動脈起始部から心尖部に向かって、心膜 *pericardium* に割を入れる。
- 373 この割の中心を通して直行する別の割を加える(上大静脈付近を温存する)。
- 374 心膜腔 *cavum pericardii* に心臓 *cor* を同定する。
- 375 心膜が漿膜性・線維性心膜 *pericardium serosum et fibrosum* の二重構造であることを見る。
- 376 漿膜性心膜だけが大血管付近で折れ返って、心外膜 *epicardium* に連続することを手で確認する。
- 377 大動脈と肺動脈を一掴みして、心膜横洞 *sinus transversus pericardii* を同定する。
- 378 心尖 *apex cordis* と心底(心基部) *basis cordis* を同定する。
- 379 自然位で、前面に右心室 *ventriculus dexter* や動脈円錐 *conus arteriosus* を見る。
- 380 心尖を持ち上げて、下大静脈 *vena cava inferior* や肺静脈 *venae pulmonales* を見る。
- 381 心臓に出入りする血管を同定しながら、心膜の折れ返りにできるだけ近いところで切断する。
- 382 心房 *atrium* と心室の間に冠状溝 *sulcus coronarius* を見る。
- 383 左右の心室の間に前・後室間溝 *sulcus interventricularis anterior et posterior* を見る。
- 384 みぎ冠状動脈 *arteria coronaria dextra* (AHA分類 # 1)を Valsalva sinus まで剖出する。
- 385 洞房結節枝 *sinoatrial node brach* (や房室結節枝 *atrioventricular branch*) を探す。
- 386 後室間溝に、後室間枝 *ramus interventricularis posterior* (# 4) を剖出する。

- 387 ひだり冠状動脈が left main trunk (# 5) として Valsalva sinus から起こる様子を剖出する。
- 388 前室間溝に、前室間枝 ramus interventricularis anterior (# 6) を剖出する。
- 389 前室間枝から分岐する中隔枝 septal branches を剖出する。
- 390 Left main trunk から分岐する回旋枝 ramus circumflexus (# 11) を剖出する。
- 391 冠状静脈洞 sinus coronarius と左心房斜静脈 vena obliqua atrii sinistri (Marshall) を探す。
- 392 心膜とその下層の脂肪を取り除き、心尖部に心渦を剖出する。
- 393 左右の心耳 auricula を剖出する。
- 394 下大静脈前面から右心耳へ続く線で右心房を切開する。
- 395 右心房前面から心尖に向かったのちに肺動脈幹へと曲がるように右心室を切開する。
- 396 左心房天蓋部から心尖に向かったのちに大動脈へと曲がるように左心室を切開する。
- 397 大動脈基部で大動脈弁 valva aortae と大動脈球 bulbus aortae を同定する。
- 398 右心房及び左心房の内面で卵円窩 fossa ovalis を同定する。
- 399 右心房の内面で、心耳で発達する櫛状筋 musculi pectinati を同定する。
- 400 上・下大静脈と右心耳の間に発達した櫛状筋 (分界稜 crista terminalis) を同定する。
- 401 三尖弁 valva tricuspidalis 中隔尖をたよりに房室中隔 septum arterioventriculare を同定する。
- 402 右心房内面で冠状静脈洞とみぎ線維三角 trigonum fibrosum dextrum の距離を目測する。
- 403 右心室内面で心室中隔 septum interventriculare 膜性部と筋性部を同定する。
- 404 三尖弁で乳頭筋 musculi papillares 、腱索 chordae tendineae 、弁尖、弁輪を同定する。
- 405 右心室内で肉柱 trabeculae carneaе 及び中隔縁柱を同定する。
- 406 僧帽弁 valva mitralis と三尖弁の付着部位の高低差を目測する。
- 407 縦隔内で気管 trachea と気管支を剖出する。
- 408 大動脈から起こり、肺に入る気管支動脈 arteriae bronchiales を剖出する。
- 409 胸管を温存しつつ、食道 esophagus 周囲の迷走神経を剖出する。
- 410 両側の横隔神経と心膜横隔動脈 arteria pericardiophrenica を剖出する。
- 411 壁側胸膜を剥ぎ取り、肋骨下縁を走る肋間動静脈と肋間神経を剖出する。
- 412 壁側胸膜を剥いで、奇静脈 vena azygos を剖出する。
- 413 交感神経幹に続いて大・小内臓神経 nervus splanchnicus major et minor を剖出する。

- 414 #11 頭部離断・咽頭・喉頭・腹膜・腹膜腔・腹部内臓
415 (上半身グループ)
- 416 迷走神経と上心臓枝を頸部の中ほどで一緒にしばり、切断する。
- 417 同じ高さで、総頸動脈と内頸静脈を切断する。
- 418 副神経を僧帽筋に入る手前で目印を付けて切断する。
- 419 肩甲舌骨筋を中間腱で切断する。
- 420 下甲状腺動静脈を切断する。
- 421 気管、食道、反回神経を甲状腺の下端の高さで切断する。
- 422 食道後面(椎前隙)に指を入れ、軟部組織を椎前筋からできる限り上方まで剥がす。
- 423 頸部の中ほどで、交感神経幹と上心臓神経と一緒にしばり、切断する。
- 424 頸神経前枝の根部を剖出し、頭部へ伸びる神経を切断する。
- 425 ご遺体を腹臥位にし、枕を胸部の下に入れて頸部を前屈させる。
- 426 骨鉗子で大後頭隆起付近までの後頭骨を削り取り、大後頭孔 foramen magnum を拡大する。
- 427 脊柱管前面の硬膜を剥ぎ取り、後縦靭帯 ligamentum longitudinale posterius を剖出する。
- 428 歯突起 dens を縁取るように、メスで結合組織を切断する。
- 429 歯突起の基部から斜め外側下方に向けて外側環軸関節を開放する。
- 430 頭・頸長筋 musculus longus capitis et colli などと同定しながら切断して頭部を離断する。
- 431 環椎の骨膜の尾側部分を解放し、骨膜下(骨膜のうちがわ)の骨を骨鉗子でむしり取る。
- 432 迷走神経を下神経節 ganglion inferius まで剖出し、副神経とも区別しておく。
- 433 茎状突起を同定した後、茎突咽頭筋 musculus stylopharyngeus を剖出する。
- 434 茎突咽頭筋または頸動脈洞 sinus cariticus を基に舌咽神経 nervus glossopharyngeus を同定する。
- 435 内頸動脈 arteria carotis interna と内頸動脈神経叢を剖出する。
- 436 甲状舌骨膜 membrana thyreochoidea を貫く上喉頭神経 nervus laryngeus superior 内枝を剖出。
- 437 下・中・上咽頭収縮筋 musculus constrictor pharyngis inferior, medius et superior を見る。
- 438 咽頭縫線にそって食道後壁を解放する。
- 439 咽頭円蓋で咽頭扁桃 tonsilla pharyngea を同定する。
- 440 後鼻孔 choana と口蓋垂 uvula を同定する。
- 441 舌根で舌乳頭を同定する。
- 442 舌乳頭をたよりに分界溝 sulcus terminalis と舌盲孔 foramen cecum linguae を同定する。
- 443 分界溝の下方に舌扁桃 tonsilla lingualis を同定する。
- 444 口蓋舌弓 arcus palatoglossus と口蓋咽頭弓 arcus palatopharyngeus を同定する。
- 445 両者の間に口蓋扁桃 tonsilla palatina を同定する。
- 446 喉頭蓋 epiglottis と梨状陥凹 recessus piriformis を同定する。

- 447 甲状腺 glandula thyreoidea を露出する。
- 448 下甲状腺動脈をたどって上皮小体（副甲状腺） glandula parathyreoidea を剖出する。
- 449 上喉頭神経外枝と輪状甲状筋 musculus cricothyreoideus を剖出する。
- 450 上喉頭神経を、内枝と外枝の分岐より手前で切断する。
- 451 上甲状腺動静脈を適当な位置で切断する。
- 452 甲状舌骨筋をめくりあげ、舌骨下縁の高さで軟部組織を切断して、喉頭を切り出す。
- 453 甲状腺を取り外し、輪状軟骨 cartilago cricoidea を剖出する。
- 454 甲状軟骨から気管分岐部 bifurcatio tracheae (carina tracheae) までの距離を目測する。
- 455 喉頭を頭側からみて声帯ヒダ plica vocalis を同定する。
- 456 粘膜を剥がして、披裂軟骨 cartilago arytenoidea を剖出する。
- 457 後輪状披裂筋 musculus cricoarytenoideus posterior を剖出する。
- 458 斜・横披裂筋 musculus arytenoideus obliquus et transversus を剖出する。
- 459 甲状軟骨を左右どちらか一側で切って取り去る。
- 460 外側輪状披裂筋 musculus cricoarytenoideus lateralis を剖出する。
- 461 甲状披裂筋 musculus thyreoarytenoideus (声帯筋 musculus vocalis) を剖出する。
- 462 声帯の豊富な粘膜下組織を観察しつつ、声帯靭帯 ligamentum vocale を剖出する。
- 463 (下半身グループ)
- 464 腹横筋を横筋筋膜 fascia transversalis と腹膜 peritoneum から剥がし、筋腹で切断する。
- 465 腹直筋鞘後葉も横筋筋膜と腹膜から剥がし、臍の高さで横切する。
- 466 剣状突起のややひだり側からひだり上前腸骨棘にむけて腹膜を切断する（みぎではない）。
- 467 ひだり側の腹膜に追加で割を入れ、十分にめくり返せるようにする。
- 468 みぎ側では、臍の下を通る割を入れ、その中腹からみぎ上前腸骨棘にむけても割を入れる。
- 469 正中・内側・外側臍ヒダ plica umbilicalis mediana, medialis et lateralis を同定する。
- 470 外側臍ヒダの外側で、腹腔内から精管 ductus deferens または子宮円索を透見する。
- 471 腹膜を剥ぎ取って、深峯径輪 anulus inguinalis profundus を剖出する。
- 472 肝鎌状間膜 ligamentum falciforme hepatis を同定する。
- 473 肝円索 ligamentum teres hepatis を可及的に剖出する。
- 474 肝臓 hepar の上面に手を入れ、肝冠状間膜 ligamentum coronarium hepatis を同定する。
- 475 大網 omentum majus と胃 ventriculus、小網 omentum minus を同定する。
- 476 網嚢孔 foramen epiploicum (Winslow) から網嚢 bursa omentalis に手を入れて広がりを見る。
- 477 胆嚢 vesica fellea を同定する。
- 478 胃の噴門 cardia と幽門 pylorus、大・小弯 curvatura major et minor を同定する。
- 479 横行結腸 colon transversum と横行結腸間膜 mesocolon transversum を同定する。

- 480 盲腸 cecum と虫垂 appendix vermiformis、虫垂間膜 mesoappendix を同定する。
- 481 上行・下行結腸 colon ascendens et descendens を同定する。
- 482 S状結腸 colon sigmoideum とS状結腸間膜 mesocolon sigmoideum を同定する。
- 483 小腸 intestinum tenue を持ち上げて腸間膜 mesenterium と腸管膜根 radix mesenterii を見る。
- 484 脾臓 lien を同定し、肝臓と併せて表面の性状や大きさを、他班のご遺体と比較する。
- 485 男性では膀胱直腸窩 excavatio rectovesicalis に手を入れてひろがりを見る。
- 486 女性では直腸子宮窩 excavatio vesicouterina (Douglas) に手を入れてひろがりを見る。
- 487 胃脾間膜 ligamentum gastrolienale と横隔脾ヒダ ligamentum ohrenicolienale を同定する。
- 488 十二指腸空腸曲の付近で、横隔膜右脚より連続するトライツ靱帯 Treiz ligament を剖出する。

- 489 #12 咽頭・喉頭・内頭蓋底・腹部内臓の血管・腸管の切り出し
490 (上半身グループ)
- 491 頭蓋冠 calvaria を覆う皮膚や帽状腱膜を剥ぎ取り、頭蓋骨も外す。
492 硬膜と上矢状静脈洞 sinus sagittalis superior を同定する。
493 上矢状静脈洞を切り開き、その内外に突出するクモ膜顆粒を同定する。
494 大脳鎌 falx cerebri と小脳テント tentorium cerebelli を同定する。
495 下矢状静脈洞 sinus sagittalis inferior と大脳静脈 vena cerebri magna を同定する。
496 直・横・S状静脈洞 sinus rectus, transversus et sigmoideus を同定する。
497 視神経 nervus opticus、内頸動脈、下垂体漏斗 infundibulum を同定する。
498 動眼・滑車・外転神経 nervus oculomotorius, trochlearis et abducens を同定する。
499 三叉神経 nervus trigeminus を同定し、眼神経、上顎神経、下顎神経まで追及する。
500 顔面・内耳神経 nervus facialis et vestibulocochlearis を同定する。
501 舌咽・迷走・副神経を同定する。
502 舌下神経を同定する。
503 中頭蓋窩で、中硬膜動脈 arteria meningea media を透見する。
504 側頭骨錐体部付近を除いて、硬膜を剥ぎ取る。
505 トルコ鞍 sella turcica の上面に沿って硬膜を剥ぎ取る。
506 トルコ鞍の後面を部分的に取り去りながら下垂体 hypophysis を取り出す。
507 下垂体の矢状断を作成し、前・後葉 lobus anterior et posterior を同定する。
508 (下半身グループ) ※ #13 と併せて、2日間かけて行う
- 509 上行・下行結腸のすぐ外側にメスで割を入れ、結腸に接する層で鈍的に剥離する。
510 上行・下行結腸を神経や血管を包んだ脂肪組織ごと内側に持ち上げる。
511 回腸 ileum に近い腸間膜をうすく剥き、てのひらで脂肪を溶かしてリンパ管や神経を見る。
512 腸間膜内に上・下腸間膜動脈 arteria mesenterica superior et inferior を剖出する。
513 回結腸動脈 arteria ileocolica と虫垂動脈 arteria appendicularis を剖出する。
514 上腸間膜静脈 vena mesenterica superior と gastrocolic trunk (Henle) (発展学習) を見る。
515 横隔脾ヒダを切断し、脾臓と膵臓 pancreas をひだり側から持ち上げて授動する。
516 膵臓の上縁に脾静脈 vena lienalis と脾動脈 arteria lienalis を剖出する。
517 下腸間膜静脈 vena mesenterica inferior を剖出する。
518 左・右胃大網動脈 arteria gastroepiploica sinistra et dextra を剖出する。
519 脾動脈より分岐する短胃動脈 arteriae gastricae breves を剖出する。
520 胃脾ヒダで、左胃動脈 arteria gastrica sinistra と、腹腔動脈 truncus celiacus を剖出する。
521 小網を破いて、総肝動脈 arteria hepatica communis を剖出する。

- 522 小網の頭側寄り、前迷走神経幹より出る迷走神経肝枝を剖出する。
- 523 胃十二指腸動脈 *arteria gastroduodenalis* と右胃動脈 *arteria gastrica dextra* を剖出する。
- 524 肝十二指腸間膜で、固有肝動脈 *arteria hepatica propria* と総胆管 *ductus choledochus* を剖出する。
- 525 両者の奥に門脈 *vena portae* を剖出する。
- 526 Calot 三角を目安に、胆嚢動脈 *arteria cystica* を剖出する。
- 527 上・下膵十二指腸動脈 *arteriae pancreaticoduodenales superior et inferior* を剖出する。
- 528 十二指腸空腸曲と S 状結腸下端で腸管を二箇所結紮し、その間を切断する。
- 529 脈管系を温存するために腸管に近いところで腸間膜を切断していき、腸管を取り出す。
- 530 結腸膨起 *haustra coli*、結腸ヒモ *teniae coli*、腹膜垂 *appendices epiploicae* を同定する。
- 531 腸間膜の付着縁に沿って腸管を切り開き、小腸内腔でパイエル板 *Peyer' s patches* を同定。
- 532 バウヒン弁 *Bauhin' s valve* 周辺までの小腸に腸絨毛 *villi intestinales* の存在を見る。

- 533 #13 口腔・鼻腔・咽頭鼻部・腸管の内景・血管系
- 534 (上半身グループ)
- 535 頭頸部の正中より 5 mm 程度ひだり側で矢状断を作製する (人工物があれば教員を呼ぶ)。
- 536 舌 *lingua* の断面でオトガイ舌筋 *musculus genioglossus* と内舌筋を同定する。
- 537 舌の下面で舌下腺 *glandula sublingualis* と大舌下腺管 *ductus sublingualis major* を剖出する。
- 538 顎下腺管 *ductus submandibularis* をたよりに顎下腺にいたる。
- 539 顎下腺管の下方で、舌神経と舌下動静脈 *arteria et vena sublingualis* を剖出する。
- 540 舌神経と顎下腺をつなぐ神経 (おもに副交感) を、顎下腺の上縁で剖出する。
- 541 舌骨舌筋と顎舌骨筋を上面からも剖出する。
- 542 鼻中隔の粘膜を剥ぎ取って、嗅神経 *nervi olfactorii* を剖出する。
- 543 同様にして、前・後篩骨動脈 *arteria ethmoidalis anterior et posterior* を剖出する。
- 544 上顎神経の枝である鼻口蓋神経 *nervus nasopalatinus* を剖出し、切歯管までたどる。
- 545 上・中・下鼻甲介 *concha nasalis superior, media et inferior* を同定する。
- 546 蝶形骨洞 *sinus sphenoidalis* と前頭洞 *sinus frontalis* を同定する。
- 547 耳管咽頭口 *ostium pharyngeum tubae auditivae* を同定する。
- 548 粘膜を剥いで、口蓋帆挙筋 *musculus levator veli palatini* を剖出する。
- 549 口蓋咽頭筋 *musculus palatopharyngeus* と口蓋舌筋 *musculus palatoglossus* を剖出する。
- 550 (下半身グループ)
- 551 #12 の続きを行う

- 552 #14 咀嚼筋・下顎管・胃・肝臓・十二指腸・膵臓・脾臓・腎臓・副腎・血管系
553 (上半身グループ)
- 554 咬筋 *musculus masseter* を剖出し、浅部と深部をそれぞれ筋腹で切断する。
555 側頭筋 *musculus temporalis* の前面を清掃する。
556 頬骨弓 *arcus zygomaticus* の下に布を引いてから適当に切断する。
557 下顎骨筋突起の骨膜を剥ぎ取り、同部をノミで離断して側頭筋をめくり返す。
558 外頸動脈の終枝の一つである顎動脈 *arteria maxillaris* を剖出する。
559 外側・内側翼突筋 *musculus pterygoideus lateralis et medialis* を剖出する。
560 舌神経の後ろで下歯槽神経 *nervus alveolaris inferior* をみつける。
561 下顎管を開いて、中を走行する下歯槽神経を剖出する。
562 (下半身グループ)
- 563 噴門と横隔膜の間で食道を二箇所で見詰めて、切断する。
564 肝冠状間膜と左右の三角間膜 *ligamentum triangulare* を切断する。
565 みぎ副腎静脈 *vena suprarenalis* をたよりにみぎ副腎を同定し、肝臓から離しておく。
566 無漿膜野 *area nuda* で肝臓と横隔膜を剥がし、肝臓の後上面で下大静脈を切断する。
567 下膵十二指腸動脈にしるしをつけてから切断する。
568 腹腔動脈を切断し、胃・十二指腸・肝臓・膵臓・脾臓を一塊に取り出す。
569 腹腔神経叢 *plexus celiacus* と腹腔神経節 *ganglion celiacum* を剖出する。
570 大十二指腸乳頭 *papilla duodeni major (Vater)* と膵管 *ductus pancreaticus* を剖出する。
571 腎臓 *ren* から離れた体幹外側部で、後腹膜下のジェロタ筋膜 *Gerota fascia* に割を入れる。
572 腎周囲の脂肪組織ごと腎臓を内側へ持ち上げ、腎臓と副腎 *glandula suprarenalis* を剖出する。
573 両側で腎動静脈 *arteria et vena renalis* を剖出し、ひだり副腎静脈も剖出する。
574 上・中・下副腎動脈 *arteriae suprarenales superior, media et inferior* を剖出する。
575 両側で精巣静脈 *vena testicularis* または卵巣静脈 *vena ovarica* を剖出する。
576 ひだり側で、腎門 *hilus renalis* で腎動静脈を切断して、腎臓摘出に取り掛かる。
577 尿管 *ureter* は腎臓に5cm程度付けて取り出し、体壁側に残した尿管には印をつけておく。
578 ひだり腎臓の上極と下極を通る断面を作製し、皮質 *cortex* と髓質 *medulla* を同定する。
579 また腎洞の脂肪組織を取り去り、腎盤(腎盂)や腎杯、葉間動脈を同定する。
580 さらに腎実質で弓状動脈や小葉間動脈を同定する。

- 581 #15 顎関節・側頭下窩・後胸腹壁・横隔膜
- 582 (上半身グループ)
- 583 顎関節 *articulatio temporomandibularis* を開き、関節円板 *discus articularis* を同定する。
- 584 外側翼突筋を筋腹で切断してから、下顎骨の下顎枝を切断して取り去る。
- 585 舌神経 *nervus lingualis* をさらに追及し、鼓索神経 *chorda tympani* も剖出する。
- 586 中硬膜動脈を参考に耳介側頭神経を同定し、できるだけ卵円孔 *foramen ovale* の方までたどる。
- 587 内側翼突筋や舌骨上筋群、外舌筋を下顎骨付近で切断して、下顎骨を取り去る。
- 588 茎突舌筋 *musculus styloglossus* を剖出する。
- 589 (下半身グループ)
- 590 腰動脈 *arteriae lumbales* と総腸骨動脈 *arteria iliaca communis* を剖出する。
- 591 腰静脈 *venae lumbales* を剖出する。
- 592 総腸骨静脈 *vena iliaca communis* を剖出する。
- 593 胸管を腹部にたどり、主要なリンパ管を剖出する。
- 594 胸部で大動脈を縦に切り開き、内腔から分枝を確認する。
- 595 横隔膜の停止(腱中心 *centrum tendineum*) を同定する。
- 596 横隔膜の右脚 *crus dextrum* と左脚 *crus sinistrum* を剖出する。
- 597 大・小腰筋 *musculus psoas major et minor* をまたぐ内側弓状靭帯を同定する。
- 598 腰方形筋 *musculus quadratus lumborum* をまたぐ外側弓状靭帯を同定する。
- 599
- 600 ※時間が余ったら、肝門部の実質を取り除き、静脈管索や門脈を剖出する。
- 601 ※心臓の内部構造や動脈管索の位置と併せて考察し、胎児循環を説明できるようにする。

- 602 #16 舌・口蓋・副鼻腔・翼口蓋神経節・腰神経叢・下半身離断
603 (上半身グループ)
- 604 中鼻甲介をわずかに削り取り、篩骨洞 sinus ethmoidalis を同定する。
605 中鼻甲介をさらに削り取り、半月裂孔 hiatus semilunaris を同定する。
606 翼突鉤を覆う粘膜を剥ぎ取って、口蓋帆張筋 musculus tensor veli palatini を剖出する。
607 口蓋粘膜を剥ぎ取って、大・小口蓋神経 nervus palatina major et minor を剖出する。
608 大口蓋孔から頭側に向かって、大口蓋管を上顎神経 nervus maxillaris の高さまで開く。
609 翼口蓋神経節 ganglion pterygopalatinum を同定する。
610 (下半身グループ)
- 611 ここから数行にわたっては、大腰筋を完全に取り去り、その内部を走行する腰神経叢を剖出する。
612 肋下神経 nervus subcostalis と上行腰静脈 vena lumbalis ascendens を剖出する。
613 腸骨下腹神経 nervus iliohypogastricus と腸骨鼠径神経 nervus genitofemoralis の候補を探す。
614 外側大腿皮神経 nervus cutaneous femoris lateralis と大腿神経を遠位まで剖出する。
615 陰部大腿神経 nervus genitofemoralis と閉鎖神経 nervus obturatorius を遠位まで剖出する。
616 閉鎖神経の内側で腰仙骨神経幹 truncus lumbosacralis を剖出する。
617 神経は第3・4腰椎の高さでしるしを付けて、そのほかの軟部組織とともに切断する。
618 第3・4腰椎間の椎間円板 discus intervertebralis (ふくらんでいる部分) を切断する。
619 椎間円板の切断面で髄核を同定する。

- 620 #17 副眼器・眼窩・眼球・外陰部・会陰
- 621 (上半身グループ)
- 622 内側眼瞼靭帯を切断し、涙嚢 *saccus lacrimalis* を剖出する。
- 623 鼻涙管 *ductus nasolacrimalis* をノミで開放する。
- 624 上眼瞼 *palpebra superior* で眼輪筋を取り去り、瞼板 *tarsus* に達する。
- 625 上眼瞼挙筋 *musculus levator palpebrae superioris* との結合を切って、瞼板を取り出す。
- 626 眼窩の上外側縁の骨をわずかに削り取り、涙腺 *glandula lacrimalis* を剖出する。
- 627 内頭蓋底から眼窩の天井をノミで慎重に削り去り、眼窩骨膜を開放する。
- 628 前頭神経 *nervus frontalis* に続いて、眼窩上神経と滑車上神経を剖出する。
- 629 上眼瞼挙筋を筋腹で切断し、上直筋 *musculus rectus superior* を剖出する。
- 630 その内側で上斜筋 *musculus obliquus superior* と滑車神経を剖出する。
- 631 上直筋を筋腹で切断し、動眼神経をたどる。
- 632 上斜筋を筋腹で切断し、鼻毛様体神経 *nervus nasociliaris* を剖出する。
- 633 鼻中隔へと走る前・後篩骨動脈を眼窩内でも剖出する。
- 634 前・後篩骨動脈の下方の内側直筋 *musculus rectus medialis* を剖出する。
- 635 涙腺へ向かう涙腺神経 *nervus lacrimalis* を剖出する。
- 636 眼窩外側で外側直筋 *musculus rectus lateralis* と外転神経を剖出する。
- 637 鼻毛様体神経から眼球 *oculus* にのびる長毛様体神経 *nervi ciliares longi* を剖出する。
- 638 視神経の外側で、外側直筋の内側面に接して、毛様体神経節 *ganglion ciliare* を剖出する。
- 639 毛様体神経節から眼球にのびる短毛様体神経 *nervi ciliares breves* を剖出する。
- 640 総腱輪を剖出し、脳硬膜への連続を見る。
- 641 総腱輪を適当に切断しつつ、網膜中心動脈 *arteria centralis retinae* を剖出する。
- 642 下直筋 *musculus rectus inferior* と下斜筋 *musculus obliquus inferior* を見る。
- 643 一側で、適当に軟部組織を切断して、眼球を取り出す。
- 644 眼球の赤道面で切断し、飛び出してくる硝子体 *corpus vitreum* を見る。
- 645 水晶体 *lens* の周縁から離れた部分に、網膜 *retina* に連続する毛様体 *corpus ciliare* を見る。
- 646 毛様小体 *zonula ciliaris* (Zinn) を切断して水晶体を取り出し、断面を作製し観察する。
- 647 虹彩 *iris* を隔てて対峙する前・後眼房 *camera anterior / posterior bulbi* を同定する。
- 648 眼球摘出側で眼窩内容物を取り去り、眼窩下神経・動脈 *nervus et arteria infraorbitalis* を見る。
- 649 眼窩下神経・動脈を残しつつ、眼窩下面を部分的に除去して、上顎洞 *sinus maxillaris* を見る。
- 650 (男性の下半身グループ) ※ #18 と併せて、2日間かけて行う
- 651 陰嚢 *scrotum* の皮膚をごく薄く剥き、肉様膜 *tunica dartos* を剖出する。
- 652 外精筋膜 *fascia spermatica externa* ごしに精巣挙筋 *musculus cremaster* を見る。

- 653 内精筋膜 fascia spermatica interna までの層をひととめに剥離する。
- 654 精巣鞘膜 tunica vaginalis testis を切り開き、精巣 testis と精巣上体 epididymis を見る。
- 655 精索を切り開き、精管、精巣動脈 arteria testicularis 、蔓状静脈叢を剖出する。
- 656 一側で精巣上体と精巣の断面を作製する。
- 657 それぞれで精巣輸出管 ductuli efferentes testis と精細管 tubuli seminiferi を同定する。
- 658 陰茎 penis の肉様膜と浅陰茎筋膜を剥ぎ取り、浅陰茎背静脈を剖出する。
- 659 深陰茎筋膜 fascia penis profunda (Buck) を剥ぎ取る。
- 660 深陰茎背静脈 vena dorsalis penis profunda を剖出する。
- 661 白膜 tunica albuginea に包まれた陰茎海綿体 corpus cavernosum penis を剖出する。
- 662 尿道海綿体 corpus spongiosum penis を剖出する。
- 663 会陰部の皮膚を薄く剥ぎ、外肛門括約筋 musculus sphincter ani externus を剖出する。
- 664 尿道海綿体の基部を取り巻く球海綿体筋 musculus bulbospongiosus を剖出する。
- 665 球海綿体筋の後端で、会陰腱中心（会陰体）を同定する。
- 666 浅会陰横筋 musculus transversus perinei superficialis を探す。
- 667 陰茎海綿体に続く陰茎脚 crus penis と坐骨海綿体筋 musculus ischiocavernosus を剖出する。
- 668 球海綿体筋と坐骨海綿体筋の間の脂肪を取り除き、会陰膜 membrana perinei を見る。
- 669 坐骨直腸窩 fossa ischiorectalis の脂肪を取り、肛門挙筋 musculus levator ani を剖出する。
- 670 坐骨直腸窩から前方に手を差し入れ、尿生殖隔膜 diaphragma urogenitale を剖出する。
- 671 会陰膜を剥ぎ取り、深会陰隙に深会陰横筋 musculus transversus perinei profundus を剖出する。
- 672 深会陰横筋のなかに尿道球腺 glandula bulbourethralis (Cowper) を剖出する。
- 673 尿道球の基部で尿道を切断し、尿道海綿体を陰茎海綿体から剥がし取る。
- 674 陰茎脚を恥骨 pubis から切り離し、陰茎海綿体の断面を作製する。
- 675 陰茎深動脈 arteria profunda penis を同定する。
- 676 (女性の下半身グループ) ※ #18 と併せて、2日間かけて行う
- 677 会陰部の皮膚を薄く剥ぎ、外肛門括約筋 musculus sphincter ani externus を剖出する。
- 678 大陰唇で皮剥ぎを行い、球海綿体筋 musculus bulbospongiosus を剖出する。
- 679 球海綿体筋の後端で、会陰腱中心（会陰体）を同定する。
- 680 浅会陰横筋 musculus transversus perinei superficialis を探す。
- 681 恥骨に接して、陰核 clitoris と坐骨海綿体筋 musculus ischiocavernosus を剖出する。
- 682 一側で球海綿体筋を剥ぎ取り、前庭球 bulbus vestibuli を剖出する。
- 683 前庭球に接して、大前庭腺 glandula vestibularis major (Bartholin) を剖出する。
- 684 球海綿体筋と坐骨海綿体筋の間の脂肪を取り除き、会陰膜 membrana perinei を露出させる。
- 685 陰核を恥骨から切り離し、断面を作製して観察する。

- 686 坐骨直腸窩 fossa ischioirectalis の脂肪を取り去り、肛門挙筋 musculus levator ani を剖出する。
- 687 坐骨直腸窩から前方に手を差し入れ、尿生殖隔膜 diaphragma urogenitale を剖出する。
- 688 会陰膜を剥ぎ取り、深会陰隙に深会陰横筋 musculus transversus perinei profundus を剖出する。

- 689 #18 舌下神経管・頸静脈孔・外耳・中耳・会陰・骨盤壁
690 (上半身グループ)
- 691 大後頭孔の後縁で後頭骨を切り落とす。
- 692 舌下神経管に続いて頸静脈孔 foramen jugulare を開放する。
- 693 外耳道直上の頭蓋骨を切り落とす。
- 694 顔面神経の内耳孔への侵入の延長線上にある錐体部前面をノミで少しずつ削る。
- 695 キヌタ骨 incus を同定したら、外耳道方向へとノミの向きを変える。
- 696 ツチ骨 malleus とそれにつながる鼓膜 membrana tympani を剖出する。
- 697 ツチ骨キヌタ骨関節部の奥に鼓索神経を同定する。
- 698 ツチ骨頭部前面に鼓膜張筋 musculus tensor tympani を同定する。
- 699 ツチ骨とキヌタ骨をピンセットで取り外し、アブミ骨 stapes を同定する。
- 700 (下半身グループ)
- 701 #17 の続きを行う

- 702 #19 内耳・翼突管・骨盤壁・骨盤の切半
- 703 (上半身グループ)
- 704 錐体前面を覆う硬膜を剥がして、大・小錐体神経 *nervus petrosus major et minor* を剖出する。
- 705 錐体前面の弓上隆起を目印に、海綿骨の先に緻密骨として現れる前半規管を剖出する。
- 706 前半規管の後端に直角に接する後半規管を剖出する。
- 707 両者の間で水平に走る外側半規管を剖出する。
- 708 大錐体神経を後ろにたどって、顔面神経の膝神経節を剖出する。
- 709 内耳道の延長と大錐体神経の交点を基部として前やや外側方に向かう蝸牛 *cochlea* を剖出。
- 710 (下半身グループの共通部分)
- 711 大腿骨の切断面に一致して、軟部組織をすべて切断する。
- 712 恥骨結合 *tuberculum pubicum* を正中で切断する。
- 713 骨盤後面から腰椎と仙骨を、正中から1横指ひだり側で切断する。
- 714 膀胱のひだり側の腹膜を破いて、膀胱 *vesico* に出入りする神経血管束を切断する。
- 715 膀胱をさらにみぎ側に寄せて、ひだりの精管または子宮円索を切断する。
- 716 女性のご遺体では子宮 *uterus* と卵巢 *ovarium*、卵管 *tuba uterina* を同定する。
- 717 続いて、子宮間膜 *mesometrium*、卵巢間膜 *mesoovarium*、卵管間膜 *mesosalpinx* を同定する。
- 718 子宮広間膜 *ligamentum latum uteri* を骨盤寄りで切断する。
- 719 尿生殖隔膜を可及的にひだり側の端で切断する。
- 720 ひだり側で、肛門挙筋を恥骨および内閉鎖筋膜からの起始に沿って切断していく。
- 721 ひだり総腸骨動脈を骨盤折半の断面で切る。
- 722 内腸骨動脈 *arteria iliaca interna* の臓側枝などを適当に切断して骨盤折半を完了する。
- 723 膀胱の上面を正中で切りひらき、膀胱三角 *trigonum vesicae* を同定する。
- 724 (男性の下半身グループ)
- 725 前立腺 *prostata* と精嚢 *vesicula seminalis*、精管膨大部 *ampulla ductus deferentis* を剖出。
- 726 ひだり側で内腸骨動脈の第一分枝である上行する腸腰動脈 *arteria iliolumbalis* を剖出する。
- 727 骨盤壁内面前方を下行し、閉鎖管を経て大腿内側部に至る閉鎖動脈 *arteria obturatoria* を剖出。
- 728 骨盤のうちがわとそとがわで坐骨棘 *spina ischiadica* と坐骨結節 *tuber ischiadicum* を剖出。
- 729 骨盤のうちがわから仙棘靭帯と仙結節靭帯 *ligamentum sacrospinale et sacrotuberale* を剖出。
- 730 上・下殿動脈を、骨盤のうちがわとそとがわがつながるように剖出する。
- 731 仙骨外側前面を経て坐骨棘を回る内腸骨動脈の枝(2本または下殿動脈との共通枝)を剖出。
- 732 内閉鎖筋の筋膜が坐骨結節のうちがわで肥厚してつくる陰部神経管(Alcock管)を剥ぎ取る。
- 733 陰部神経管で内陰部動脈 *arteria pudenda interna* と陰部神経 *nervus pudendus* を同定する。
- 734 (女性の下半身グループ)

- 735 卵巣と子宮をつなぐ卵巣固有索 *ligamentum ovarii proprium* を剖出する。
- 736 基靭帯 *cardinal ligament* (Machenrodt) の上縁を走る子宮動脈 *arteria uterina* を剖出する。
- 737 子宮動脈を近位にたどり、尿管を傷つけないように、内腸骨動脈まで剖出する。
- 738 卵巣提索 *ligamentum suspensorium ovarii* 中の卵巣動静脈 *arteria et vena ovarica* を同定する。
- 739 ひだり側での内腸骨動脈壁側枝と陰部神経の剖出は男性の下半身グループと同じである。

- 740 #20 翼突管・頸動脈管・耳神経節・骨盤壁・骨盤壁
- 741 (上半身グループ)
- 742 翼口蓋神経節と大錐体神経をつなぐ経路を想定する(蝶形骨洞に突出することもある)。
- 743 三叉神経節を覆う硬膜を剥がし、三叉神経節 ganglion trigeminale を剖出する。
- 744 翼突管をノミで削り、翼突管神経 nervus canalis pterygoidei (Vidian nerve) を剖出する。
- 745 頸動脈管を開き、大錐体神経に近接して内頸動脈が走行することを確認する。
- 746 頭蓋底から卵円孔(その奥の三叉神経節)を露出させる。
- 747 耳介側頭神経からの枝をたよりに耳神経節 ganglion oticum を剖出する。
- 748 (男性の下半身グループ)
- 749 直腸を縦に切りひらき、第二直腸横ヒダ(Houston valve)と腹膜反転部の高さを比較する。
- 750 恥骨筋 musculus pectineus を剖出し、筋腹で切断する。
- 751 外閉鎖筋 musculus obturatorius externus を剖出する。
- 752 梨状筋、上・下双子筋、内閉鎖筋、大腿方形筋を関節包のところで切断する。
- 753 坐骨大腿靭帯 ligamentum ischiofemorale を同定して、大腿骨頸部でV字に切断する。
- 754 腸骨大腿靭帯と恥骨大腿靭帯については、大腿骨頸部に沿って切断する。
- 755 股関節を屈曲させて、大腿骨頭 caput femoris を露出させる。
- 756 (女性の下半身グループ)
- 757 膣 vagina に指を入れて、子宮頸の膣部や膣円蓋を確認する。
- 758 膣動脈の上行枝を剖出する。
- 759 子宮上壁、および、膣～子宮の側壁に割を入れ子宮頸部や子宮筋層 myometrium を観察する。
- 760 残りの剖出は男性の下半身グループと同じである。

巻末付録

- (# 1・上) 乳腺はなぜ体表に開口するのか、その成り立ちから説明しましょう。
- (# 1・下) 伏在裂孔とはなにか、表在静脈の血液が心臓に至る道のりから説明しましょう。
- (# 2・上) ある神経が感覚神経と同定するための条件を説明しましょう。
- (# 2・下) 鼠径管が「腹斜筋群の起始停止の差異から生じる裂隙」であることを説明しましょう。
- (# 3・上) 脊髄神経の後枝と後根の違いを成分の違いから説明しましょう。
- (# 3・下) 四足動物の名残をデルマトームに探しましょう。
- (# 4・上) 肩甲拳筋が肩甲背神経（腕神経叢の枝）支配である理由を説明しましょう。
- (# 4・下) 小殿筋のはたらきを、同筋の起始停止（走行）を踏まえて、説明しましょう。
- (# 5・上) 甲状頸動脈の成り立ちを、頸部と上肢帯への分布から、推論しましょう。
- (# 5・下) 下腿を題材に、筋膜で仕切られた区画のなかの筋群の機能的つながりを説明しましょう。
- (# 6・上) 神経が神経根レベルと最終枝レベルで損傷されたときの症状の違いを説明しましょう。
- (# 6・下) 手掌と足底の類似点と相違点を説明しましょう。
- (# 7・上) 回内・回外時の、尺骨に対する橈骨の移動を上橈尺関節の構造から説明しましょう。
- (# 7・下) 板状筋が、腕神経叢の枝ではなく、脊髄神経後枝に支配される理由を説明しましょう。
- (# 8・上) さまざまなつかみ運動やつまみ運動を実現する機構を説明しましょう。
- (# 8・下) 脊髄神経節の感覚細胞が神経堤由来であることを脊髄との位置関係から説明しましょう。
- (# 9・上) 三叉神経第2・3枝の分布から、口腔が自然位にあることの成り立ちを推論しましょう。
- (# 9・下) 胸膜の折れ返りができる理由を説明しましょう。
- (# 10) His 束が、みぎ線維三角を貫く理由を説明しましょう。
- (# 11・上) 頭頸部に分布する交感神経の走行を説明しましょう。
- (# 11・下) 網嚢の構成要素を列挙しましょう。
- (# 12・上) それぞれの脳神経の構成成分を列挙しましょう。
- (# 12・下) 腸管膜のなかを通過する構造を、部位ごとに、列挙しましょう。
- (# 13・上) 耳管咽頭口を中耳へたどった先には鼓膜があることの成り立ちを説明しましょう。
- (# 13・下) gastrocolic trunk (Henle)に上腹部と結腸の静脈血が注ぐことを説明しましょう。
- (# 14・上) 外頸動脈の終枝（浅側頭動脈・顎動脈）の走行を説明しましょう。
- (# 14・下) 腎臓が中間中胚葉からできることを説明しましょう。
- (# 15・上) 舌神経の構成成分を部位ごとに列挙しましょう。
- (# 15・下) 体循環の静脈系を3系統にわけて説明しましょう。
- (# 16・上) 顔面神経の構成成分を列挙しましょう。
- (# 16・下) 腰動脈の位置を腰椎と比較し、脊柱の分節化を説明しましょう。
- (# 17・上) 眼球が眼杯からできることを、動脈が2系統あることから、説明しましょう。

- (# 17・下) 坐骨直腸窩の奥行きや内部構造を、肛門拳筋と関連して、説明しましょう。
- (# 18・上) アブミ骨の前脚・後脚・底で囲まれる穴の成り立ちを調べましょう。
- (# 18・下) 骨盤内臓の脱出を防ぐ構造を2つ説明しましょう。
- (# 19・上) 側頭骨の構成要素を列挙しましょう。
- (# 19・下) 骨盤内臓への神経血管束の投射経路を説明しましょう。
- (# 20・上) 舌咽神経の走行を成分ごとに説明しましょう。
- (# 20・下) 大腿骨骨頭および頸部が関節包内にあることを説明しましょう。

執筆者（五十音順）

第1版 宇田川惇、岡村結、樋口浩輝、吉原雅大、渡部嘉徳

第2版 吉原雅大、渡部嘉徳（謝辞：2024年度実習参加者）

印刷・製本

株式会社イセブ

発行年月日

第1版 2024年5月1日

第2版 2025年5月1日